

クラスⅡ汎用・生化学検査用シリーズ
リン脂質キット

Lタイプウェー リン脂質

(コリンオキシダーゼ・DAOS法)

〔一般的な注意〕

- (1) 本製品は体外診断用であり、それ以外の目的に使用しないで下さい。
- (2) この添付文書に記載された使用方法に従って使用して下さい。記載された使用方法および使用目的以外での使用については、測定値の信頼性を保証しかねます。
- (3) 測定機器は取扱説明書に従い適切な条件下で使用して下さい。なお、詳細については機器メーカーに問い合わせて下さい。
- (4) 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と併せて担当医師が総合的に判断して下さい。

〔形状・構造等(キットの構成)〕

(1) 酵素発色液 A

グッド緩衝液
ホスホリパーゼ D (微生物由来)
N-エチル-N-(2-ヒドロキシ-3-スルホプロピル)-
3,5-ジメトキシアニリンナトリウム塩 (DAOS)
アスコルビン酸オキシダーゼ (カボチャ由来)

(2) 酵素発色液 B

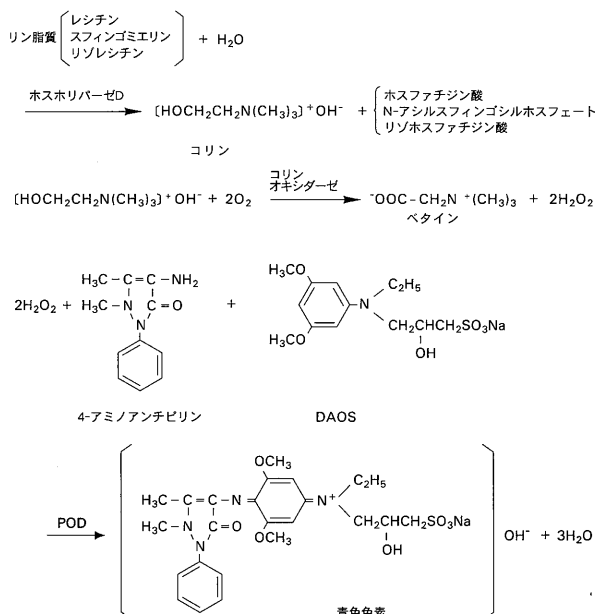
グッド緩衝液
コリンオキシダーゼ (COD) (微生物由来)
ペルオキシダーゼ (西洋ワサビ由来)
4-アミノアンチピリン

〔使用目的〕

血清中又は血漿中リン脂質の測定

〔測定原理〕

試料中のリン脂質(レシチン、リゾレシチン、スフィンゴミエリン)は、ホスホリパーゼDの作用により加水分解されコリンを遊離します。生成したコリンは、コリンオキシダーゼの作用を受けてベタインに酸化され、同時に過酸化水素を生じます。生成した過酸化水素は、ペルオキシダーゼ(POD)の作用により DAOS と 4-アミノアンチピリンとを定量的に酸化縮合させ、青色の色素を生成させます。この青色の吸光度を測定することにより試料中のリン脂質濃度を求めます。



〔操作上の注意〕

- (1) 測定試料の性質、採取法
(イ)採取後の検体は速やかに測定して下さい。
(ロ)本品はリン脂質のうちレシチン、スフィンゴミエリン、リゾレシチンを測定しますがケファリンは測定されません。
(ハ)抗凝固剤のヘパリン、クエン酸塩、シュウ酸塩、EDTA および解糖阻止剤のフッ化ナトリウムは、通常使用量では測定値に影響を与えません。
- (2) 妨害物質・妨害薬剤
(イ)アスコルビン酸、ビリルビン、溶血は測定値にほとんど影響を与えません。

〔用法・用量(操作方法)〕

(1) 試薬の調製方法

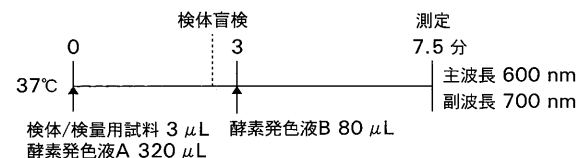
酵素発色液 A : そのまま使用して下さい。
開封後は 2~10℃ 保存で 1 か月以内に使用して下さい。
酵素発色液 B : そのまま使用して下さい。
開封後は 2~10℃ 保存で 1 か月以内に使用して下さい。

(2) 必要な器具・器材・試料等

自動分析装置 : 適用可能な機種については別途お問い合わせ下さい。
検量用試料 : マルチキャリブレーター リピッド (別売品)
使用に際しては、マルチキャリブレーター リピッドの現品説明書を参照して下さい。

(3) 測定法

〈標準操作法〉



〈リン脂質濃度の求め方〉

検量用試料の吸光度より作成した検量線より求めます。

〈各種自動分析装置への適用〉

各自動分析装置の取扱い方法に従ってパラメーターを入力し、測定して下さい。パラメーター表は別途請求して下さい。

〔測定結果の判定法〕

参考正常値⁽²⁾ 145~257 mg/dL

〔性能〕

〈性能〉

- (1) 感度
(イ)精製水を試料として操作した場合の吸光度は、0.15以下です。
(ロ)特定濃度の基準液(リン脂質 300 mg/dL 相当)を試料として操作した場合の吸光度は、0.23~0.90の範囲内です。
- (2) 正確性
既知濃度の管理用血清を測定するとき、既知濃度の±10%以内にあります。
- (3) 同時再現性
同一検体を 5 回以上同時に測定するとき、吸光度の CV 値は 5 % 以下です。
- (4) 測定範囲
リン脂質 1.0~1000 mg/dL です。(標準操作法による)

〈相関性試験成績〉

検体	血 清	血 漿
相関係数	r = 0.999 (n = 55)	r = 0.999 (n = 60)
回 帰 式	y = 0.979 x + 2.9	y = 1.040 x + 0.5
y	本品 (mg/dL)	本品 (mg/dL)
x	自動分析装置用試薬-HR II リン脂質+HR II (コリンオキシダーゼ・DAOS法, mg/dL)	A 社製品 (酵素法, mg/dL)

〔使用上又は取扱い上の注意〕

〈取扱い上(危険防止)の注意〉

- (1) 試薬が誤って口や目に入ったり、皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。

〈使用上の注意〉

- (1) 試薬は指定された条件で保管し、使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (2) 誤って凍結させた試薬は使用しないで下さい。正しい結果が得られないことがあります。
- (3) 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を閉めて指定の条件で保存して下さい。
- (4) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないで下さい。

〔廃棄上の注意〕

- (1) 廃棄に際しては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)及び排水基準に従って適切に処理して下さい。
- (2) 検体と接触した試薬及び試薬容器等は、感染の危険性があるものとして処理して下さい。
- (3) 酵素発色液 B は、防腐剤としてアジ化ナトリウムを 0.1%含有しています。アジ化ナトリウムは、銅や鉛などの重金属と結合してアジ化物を形成します。重金属のアジ化物は、乾燥状態で衝撃により爆発する性質がありますので、排水後は、排水管に残留しないように十分量の水で洗い流して下さい。

〔貯蔵方法・有効期間〕

	(貯 法)	(有効期間)
L タイプワコー リン脂質		
酵素発色液 A	2～10℃保存	製造後 1 か年間
酵素発色液 B	2～10℃保存	製造後 1 か年間

〔包 装 単 位〕

(コード番号)	(品 名)	(識別記号)	(包 装)
	L タイプワコー リン脂質		
418-10494	酵素発色液 A		280 mL × 4
412-10492	〃		40 mL × 4
414-10594	酵素発色液 B		70 mL × 4
418-10592	〃		10 mL × 4
418-30291	L タイプワコー リン脂質	S-R1	32 mL × 4
	酵素発色液 A		
414-30391	L タイプワコー リン脂質	S-R2	10 mL × 4
	酵素発色液 B		

〔主 要 文 献〕

- (1) Ikuta, S., Matuura, K., Imamura, S., Misaki, H. and Horiuti, Y. : J. Biochem., **82**, 157-163 (1977).
- (2) 北村元仕, 橋本寿美子：総合臨牀, **28**, 2042-2043 (1979).

〔問い合わせ先〕

富士フイルム 和光純薬株式会社
 臨床検査薬 カスタマーサポートセンター
 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目 4 番 1 号
 Tel：03-3270-9134(ダイヤルイン)

〔別 売〕

(コード番号)	(品 名)	(包 装)
464-01601	マルチキャリブレーター リピッド	3 mL用 × 4
	〔表示値はロットごとに異なり〕 〔現品説明書に記載しています〕	